



2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年7月31日

上場会社名 日本食品化工株式会社 上場取引所 東
コード番号 2892 URL <https://www.nisshoku.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 荒川 健
問合せ先責任者 (役職名) 経理部経理課長 (氏名) 中村 圭吾 TEL 0545-52-3181
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	16,599	—	641	—	816	—	570	—
2024年3月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 773百万円 (—%) 2024年3月期第1四半期 一百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	116.07	—
2024年3月期第1四半期	—	—

(注) 2025年3月期より連結決算を開始したため、2024年3月期第1四半期の数値及び対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	50,212	28,117	56.0
2024年3月期	—	—	—

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 28,117百万円 2024年3月期 一百万円

(注) 2025年3月期より連結決算を開始したため、2024年3月期の数値は記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	100.00	—	100.00	200.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	40.00	—	40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	62,500	—	1,300	—	1,700	—	1,300	—	264.31

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 2025年3月期より連結決算を開始したため、対前期増減率は記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期1Q	6,400,000株	2024年3月期	6,400,000株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	1,481,606株	2024年3月期	1,481,606株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年3月期1Q	4,918,353株	2024年3月期1Q	－株

(注) 2025年3月期より連結決算を開始したため、期中平均株式数（四半期累計）の2024年3月期第1四半期については記載していません。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページの「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済は、雇用・所得環境が改善する中で旺盛なインバウンド需要の後押しなどにより、緩やかな景気回復基調で推移しました。一方で、人件費や物流コストの増加、継続的な円安に伴う物価高による消費マインド低下や、ロシアによるウクライナ侵攻・中東情勢悪化の長期化、中国の不動産不況の持続に伴う消費の低迷等により先行きは極めて不透明な状況となりました。

原料とうもろこしのシカゴ相場は、期初435セント/ブッシェル台で始まり、南米の高温乾燥予報から5月中旬には472セント/ブッシェル台迄値を上げました。しかしその後、米国新穀とうもろこしの生育が順調に推移したことや、6月末に発表された四半期在庫報告、及び新穀の作付面積報告が事前予想を上回ったこと等から値を下げ、第1四半期末時点では397セント/ブッシェル台となりました。

WTI原油相場は期初83ドル/バレル台で始まり、中東情勢の緊迫化を背景に86ドル/バレル台迄値を上げました。しかしその後、軟調な各国経済指標から燃料需要減少が想起されたことや、一部産油国が自主減産を段階的に縮小すると発表したこと等から6月初旬には73ドル/バレル台迄値を下げましたが、中東の地政学リスクの高まりから上昇に転じ、第1四半期末時点では81ドル/バレル台となりました。

米国から日本までの穀物海上運賃は、期初55ドル/トン台で始まり、インドの石炭輸入増加やウクライナの穀物輸出が前年比増加したこと等から5月初旬には58ドル/トン台迄値を上げましたが、第1四半期末時点では54ドル/トン台となりました。

為替相場は、期初151円/ドル台で始まり、米金利上昇を受けて156円台迄円安が進行し、4月末から5月初旬に為替介入が実施されたこと等から一時円高へ振れる場面もありましたが、5月下旬以降は好調な米経済指標を背景に再び円安が進行し、第1四半期末時点では161円/ドル台となりました。

販売面では、コロナ禍からの回復により、インバウンド含めた人流回復もあり、特に外食産業向け需要は増加しました。また、大型連休も好天に恵まれたため、飲料向けを中心に、第1四半期前半は糖化製品の販売も増加傾向でありましたが、6月に梅雨入りの影響で降雨量が多かったこと、更に全般を通して物価上昇による消費者の節約志向が強まっていることにより、製品全体では前年同四半期に比べ販売数量は減少しました。

澱粉製品の販売では、新聞、雑誌のデジタル化進捗により紙需要の減少傾向が続いており、紙の生産量も同様に減少、結果として製紙向け澱粉の販売数量も前年同四半期に比べ大幅に減少しましたが、食品用澱粉の販売は外食市場の需要回復により販売量は増加しました。糖化製品の販売は飲料向け中心に販売数量は増加しましたが、その他食品市場向け販売と合わせると、糖化製品全体では販売数量、売上ともに減少する結果となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの売上高は165億9千万円、営業利益は6億4千万円、経常利益は8億1千万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は5億7千万円となりました。

次に、各部門の販売概況は以下のとおりであります。

(澱粉部門)

澱粉部門は、外食産業の活性化により食品向け澱粉需要は回復傾向にあるものの、製紙向け澱粉需要が全体的に減少したことを受け、澱粉製品の販売数量は減少しました。売上高は33億4千万円となりました。

(糖化製品部門)

糖化製品部門は、インバウンドの増加含め、人流回復により飲料向け中心に業務用販売が回復したものの、6月後半から降雨量が増えた影響で販売数量は減少しました。売上高は109億6千万円となりました。

(ファインケミカル部門)

ファインケミカル部門は、コロナ禍の収束により国内の一部市場向け製品販売が回復傾向でありましたが、売上構成の影響により売上高は5億8千万円となりました。

(副産物部門)

副産物部門は、穀物相場の低位安定による販売価格下落の影響により売上高は16億9千万円となりました。

なお、2025年3月期より連結決算を開始したため、対前期増減率は記載しておりません。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は502億1千万円となりました。主な内訳としては、売掛金が161億8千万円、有形固定資産が130億円等であります。負債合計については220億9千万円となりました。主な内訳としては、短期借入金が119億2千万円、退職給付に係る負債が42億8千万円等であります。また、純資産合計は281億1千万円となり、自己資本比率は56.0%となりました。

なお、2025年3月期より連結決算を開始したため、対前期増減率は記載しておりません。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の連結業績予想につきましては、2024年4月30日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

当第1 四半期連結会計期間 (2024年6月30日)	
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	252
売掛金	16,183
電子記録債権	1,829
商品及び製品	4,404
仕掛品	2,943
原材料及び貯蔵品	4,498
その他	858
貸倒引当金	△6
流動資産合計	30,964
固定資産	
有形固定資産	
建物及び構築物(純額)	4,036
機械装置及び運搬具(純額)	7,081
土地	1,262
リース資産(純額)	98
建設仮勘定	353
その他(純額)	173
有形固定資産合計	13,005
無形固定資産	
投資その他の資産	
投資有価証券	4,853
繰延税金資産	904
その他	514
貸倒引当金	△312
投資その他の資産合計	5,959
固定資産合計	19,248
資産合計	50,212

(単位：百万円)

当第1四半期連結会計期間
(2024年6月30日)

負債の部	
流動負債	
買掛金	1,248
短期借入金	11,925
未払金	3,610
未払法人税等	59
賞与引当金	293
役員賞与引当金	7
その他	490
流動負債合計	17,635
固定負債	
退職給付に係る負債	4,288
資産除去債務	121
その他	50
固定負債合計	4,460
負債合計	22,095
純資産の部	
株主資本	
資本金	1,600
資本剰余金	328
利益剰余金	26,950
自己株式	△2,148
株主資本合計	26,730
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	59
繰延ヘッジ損益	396
為替換算調整勘定	938
退職給付に係る調整累計額	△6
その他の包括利益累計額合計	1,386
純資産合計	28,117
負債純資産合計	50,212

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	16,599
売上原価	13,822
売上総利益	2,777
販売費及び一般管理費	2,136
営業利益	641
営業外収益	
受取利息	0
受取配当金	0
持分法による投資利益	173
受取ロイヤリティー	35
その他	10
営業外収益合計	220
営業外費用	
支払利息	6
固定資産除却損	23
為替差損	11
その他	3
営業外費用合計	45
経常利益	816
税金等調整前四半期純利益	816
法人税、住民税及び事業税	44
法人税等調整額	201
法人税等合計	245
四半期純利益	570
親会社株主に帰属する四半期純利益	570

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	570
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△7
繰延ヘッジ損益	4
退職給付に係る調整額	△0
持分法適用会社に対する持分相当額	205
その他の包括利益合計	202
四半期包括利益	773
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	773

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

当社グループは、とうもろこしを原料とした澱粉、糖化品、ファインケミカル、副産物の製造及び販売を事業内容としており、とうもろこし加工事業の単一セグメントであります。そのため、セグメント情報については記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

当第1四半期連結累計期間
（自 2024年 4月 1日
至 2024年 6月30日）

減価償却費

655百万円